

陸上競技実施要項

[大会コード 26 40 2002]

1. 主催 九州陸上競技協会
一般財団法人福岡陸上競技協会
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
北九州工業高等専門学校
2. 主管 一般財団法人北九州市陸上競技協会
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟陸上競技専門部
3. 後援 福岡県、福岡県教育委員会、北九州市、北九州市教育委員会
4. 共催 北九州市
5. 協賛 公益財団法人北九州観光コンベンション協会
6. 期日 令和8年7月17日(金)・18日(土)・19日(日)
7. 会場 黒崎播磨陸上競技場 in HONJO (本城陸上競技場)
(〒807-0806 北九州市八幡西区御開四丁目16番1号)[競技場コード 402050]
8. 参加人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、各種目別競技者
9. 種目 【男子 19 種目 (*印：対校得点対象外種目)】
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、
4×100mR、4×400mR、*200m (オープン)、*1500m (オープン)、
走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投 (6.0kg)、円盤投 (1.75kg)、やり投
【女子 13 種目 (*印：対校得点対象外種目)】
100m、200m、800m、3000m、100mH、4×100mR、100mH (オープン)、
*200m (オープン)、走高跳、走幅跳、砲丸投 (4.0kg)、円盤投 (1.0kg)、
やり投 (0.600kg)
10. 競技規則 2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技注意事項による。

11. 競技方法

- (1) 男女別学校対校とする。
- (2) 得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
- (3) 最多得点校を優勝校とする。ただし、同点の場合の順位決定は上位入賞種目の多い学校を上位とする。

12. 出場資格及び制限

- (1) 競技者は、2026年度日本陸上競技連盟の登録競技者であること。
- (2) 1人2種目以内とする。ただし、リレーと対校得点対象外種目については出場制限種目から除く。
- (3) 1種目各校3名以内とする。ただし、対校得点対象外種目（オープン種目）については、出場人数の制限を設けない。専攻科生はオープン種目のみ出場を認める。
- (4) 4×100mR 及び 4×400mR は、各校1チームとする。リレーの申込みは6名連記とする。
- (5) 補欠競技者の登録は、男女合わせて3名以内とする。競技者の変更は補欠競技者として申し込んだ3名以内に限るものとし、その変更は監督会議において承認を得るものとする。

13. 参加申込書について

- (1) 参加申込については、北九州市陸上競技協会 HP にある「WEB エントリーシステム」にて行うものとする。申込期限は2026年6月19日（金）（締め切り厳守）とする。
下記サイトから会員登録を行い、必要事項を記入してエントリーすること。
「会員申請（登録）」の際、種類は「大学」を選択し、学年を入力する際に専攻科の学生は1、2年を問わず「6」を入力すること。
「選手登録」の際の「ナンバー」には、(4)に記載の本大会用の学校割り振り番号を入力すること。
また、コメント欄に「九州沖縄地区高専大会参加のため」と入力すること。

※WEB 申込アドレス https://meet7.goldengames.jp/frk/web_entry/menu.cgi
(WEB 申し込みについての問い合わせ先 勝野 090-9590-6731)

- (2) 申し込みの際、「参考記録」欄に必ず「公認記録」を入力のこと。
「公認記録」の有効期間は2025年1月1日から申し込み締切日までとする。
また、「公認記録」の記録証明書を申し込み期限までに PDF にて送付すること。(競技結果一覧などでよい。氏名と記録にマークすること。)

(4) アスリートビブスについて

アスリートビブスは各校で準備すること。アスリートビブスは次のとおりとする。アスリートビブスは、横 24 cm以内、縦 16 cm以内とする。

- 101～ 久留米
- 201～ 有明
- 301～ 北九州
- 401～ 佐世保
- 501～ 熊本(熊本)
- 601～ 熊本(八代)
- 701～ 大分
- 801～ 都城
- 901～ 鹿児島
- 1001～ 沖縄

(5) オープン種目の申し込み方法について、ナンバーは正式種目にエントリーしている者は、そのナンバーを記載し、オープンのみの方は当該校の空いているナンバーを記載する。

ただし、○97～○99は補欠用(男女共有)、○51～は女子用のナンバーとする。

(6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。

競技注意事項

1. 本大会は、2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技者の招集について

(1) 招集所は、100m スタート付近の後方（ゲートの外）にある倉庫とする。

(2) 各種目の招集開始時刻及び完了時刻は次のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド	競技開始50分前	競技開始40分前

(3) 競技者は招集所において、アスリートビブス持参の上、競技者係のチェックを受けること。

(4) トラック競技は出発地点、フィールド競技は選手待機場所付近にて最終点呼を行う。

(5) 代理人による招集は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

(6) 棄権をする場合は、本人又は監督が棄権届（招集所に準備）に記入し、招集完了時刻までに招集所に提出すること。

(7) リレーは、オーダー用紙（招集所に準備）を、当該競技の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。

(8) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。

3. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、胸・背につけ、トラック競技出場者は招集所で配付された腰ナンバーを腰部右腰のやや後方に取り着けること。なお、跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。

4. 走路順・競技順序について

トラック競技の予選における走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラムに記載の番号の左に1. 2. 3. . . . の数字で示す。

5. 競技の抽選及び番組編成について

トラック種目における決勝へのプラス進出者については、該当する競技の最下位に記録が複数出た場合、写真判定主任が、同記録者の写真を拡大して、1/1000秒まで

判定して進出者を決める。それでも決まらない場合は、次の通りとする。

(ア) 空きレーンがある場合は、対象者全員を次のラウンドへ進出させる。

(イ) 空きレーンがない場合は、抽選を行う。

※ 2026年度の大会では、すべてタイムレース決勝で行う。

※ 番組編成については、申し込み記録（公認記録）をもとに主管陸協で行い、大会前に各校顧問等の確認を終えたものを確定版とする（欠場等が発生した場合の繰り上げは行わない）。

6. 走高跳のバーの上げ方等について

(1) 男子走高跳における練習の高さは1m50および1m70、試技開始は1m55、それ以降1m60、1m65、1m70、1m75、1m80、1m85とし、以後は3cmずつとする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは2cmとする。

(2) 女子走高跳における練習の高さは1m15および1m35、試技開始は1m20、それ以降1m25、1m30、1m35、1m40とし、以後は3cmずつとする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは2cmとする。

(3) 上記のバーの上げ方等は、天候やその他の条件により変更することがある（審判長が決定する）。

7. 用器具について

(1) 使用する用器具類は、主催者が用意したものを使用しなければならない。

(2) やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める（競技開始1時間前に大会本部前で行う）。ただし共通利用とする。

8. 表彰について

表彰は、当該種目終了後直ちに行う。3位までに入賞した者は、本部の表彰者控室で待機し、係員の誘導に従うこと。

9. 全国大会への出場権について

本大会において、次に該当するものは第61回全国大会の出場権を得るものとする。

(1) (ア) 男子3位（リレーは2位）、女子2位までの入賞者。

(イ) 但し、下記の種目は（ ）に示す標準記録を公認記録が突破し、且つ男子400mHは全国の上位24名以内、それ以外の種目においては男女とも全国の上位16名以内とする。

(公認記録の有効期間：2026年4月1日から2026年7月30日まで)

【男子】：400mH (59 秒 00) 3000mSC (10 分 30 秒 00)

【女子】：200m (28 秒 60) 3000m (12 分 00 秒 00) 100mH (17 秒 90)
4×100mR (56 秒 00) 走高跳 (1m40) 円盤投 (23m00)
やり投 (25m00)

(ウ) 男子リレーについては2位までのチームに加え、有効期間内の公認記録における全国の上位8チームが出場できる。

(エ) 1種目1校2名以内、同一人は2種目以内(リレー種目は除く)とする。

(オ) トラック種目における全国大会出場枠の最下位に同着が複数出た場合、再レースを実施することがある。

(2) 大会中止の場合の全国大会出場権の決定方法について

中止となった場合の全国大会出場権の決定方法については、2025年1月1日以降の公認記録を用いて選考する。

※ 暑熱対策として、日本スポーツ協会の熱中症予防運動指針に基づき、WBGTが31以上(危険)になった場合は、協議のうえ中断または中止とする。

10. その他

(1) 競技場は全天候舗装である。また、競技用靴については、2024年11月1日以降の新ルールを適用する。

(2) 男子5000mと男子3000m障害及び女子3000mは、天候によって給水を行うことがある。

(3) ウォーミングアップについては、競技場前運動場を使用することができる。メイン競技場での練習は競技開始30分前までとする。

(4) フィールド競技の練習は、招集後に競技役員の指示により本競技場内で行う。

(5) 投てき競技の練習については、本競技場内のみとし、係員の指示に従い、危険防止につとめること。

(6) 競技結果等については、福岡陸協速報室(<https://frk.jpn.org/mobile/>)に掲載する。また、競技場内にも掲示する。

(7) 雷が鳴った場合はすぐに競技を中断する。その場合は、兆候がなくなって30分後を目安に再開する。なお、中断時間によっては以降の種目の実施方法を変更することがある。

(8) 観客席からの撮影は、スマートフォン、タブレット端末を使用した撮影のみ可能とし、それ以外の機材(一眼レフカメラなど)撮影は禁止とする。